

あつま 生涯学習だより

—特別号—

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

生涯学習だより特別号って??

生涯学習だよりは、1994年（平成6年）4月から「教育委員会だより」から名称を変えて、毎月第4金曜日に発行している広報紙です。これまで、教育委員会の取組や学校の教育活動のほか、文化団体、スポーツ団体の紹介等を掲載してきました。

特別号は年に1回、一つのテーマを取り上げた特集記事をカラー版で皆さんにお届けするものです。今年度は、厚真のウィンタースポーツであるスケートを取り上げ、これまでの歴史とともに紹介していこうと思います。

『厚真のスケートリンクにまつわる話』～スケートの歴史について～

スケートが盛んなまち厚真は、町営のスケートリンクができる前から、沼や田んぼを利用してスケートを楽しんでいました。厚真町の広報では昭和46年2月号に「鹿沼スケートリンク」が表紙で紹介され、昭和48年、49年も各自治会でスケート大会を行ったなどの記録も残されています。

今回の特集では、昭和年代に広報あつまで紹介されたスケートにまつわる記事や、町営スケートリンクの今と昔、厚真のスケートリンクにまつわる歴史を紹介します。

現在では町民スケートリンクで教育委員会や各小学校によるスケート記録会が行われていますが、昔は授業や大会のためではなく「冬の遊び」としてスケートリンクが各地区に造られ、子どもから大人まで楽しんでいたことが分かります。



町民スケートリンクで開催された第19回町民体育祭
冬季大会 雪上カルタ大会（1993年：平成5年）

【町内のスケートに係る行事】

1. 厚真町スケート大会
 2. 町民体育祭冬季大会
 3. 厚真町長杯アイスホッケー大会
 4. 厚真町スケート記録会
 5. 各小学校スケート大会
 6. 小学生スケート教室
- など

【町内で開催されたスケート大会など】

1. 胆振東部小中学生スピードスケート
親睦記録会
 2. 南北海道小学校スピードスケート大会
 3. 道民スポーツ胆振冬季大会
- など

スピードスケート記録会

厚真町内でスケート行事として最初に開催されたのは、昭和42年の「第1回スケート大会」です。昭和50年には、現在の厚真高校グラウンドに本郷町営スケートリンクが造成され「第1回町民体育祭冬季大会」が開催されました。

こうしたスケートに関わる行事の中、現在も続いている「厚真町スケート記録会」は、昭和56年に「第1回厚真町小中学校スピードスケート選手権大会・記録会」として開催されていることが広報あつまの記事から分かります。

本郷町営スケートリンク造成後も各学校のグラウンドや沼の氷を利用して町民が、氷の質が悪いために思うような練習ができず、放課後に子どもたちが送迎で苦小牧市まで通っていましたが、新町の町民スケートリンク完成により、各種の公認競技会の開催もできるようになり、スケート競技は熱を帯びていきました。

練習の成果を競うこの記録会は、広報あつまに残る記録では、平成2年の大会が約170人と最も多く、平成3年が161人、平成5年が151人の小中学生が参加して、日ごろの成果を発揮していたことが分かりました。

第9回スピードスケート選手権大会・記録会
(1989年：平成元年) ↓



↑第13回スピードスケート選手権大会・記録会
(1993年：平成5年)

第44回厚真町スケート記録会
(2025年：令和7年) ↓



厚真町スケートリンクの歴史

昭和49年以前のスケートリンク

新町スケートリンク(旧厚真中学校グラウンド)、上厚真スケートリンク、各学校、各自治会有志で造成したスケートリンクなど

トピック

昭和48年2月10日

新町スケートリンクで第7回スケート大会開催
(町スケート連盟主催) 500人参加
上厚真スケートリンクでスケート大会開催



昭和50～58年のスケートリンク

本郷町営スケートリンク
現厚真高校グラウンドに造成
掘り込み式で1周200mトラック
内側にホッケーリンク1面

トピック

昭和50年2月2日
第1回町民体育祭冬季大会が開催
(町主催) 17自治会600人参加

←昭和52年広報あつまの表紙を飾った
本郷町営スケートリンクで開催された
第3回町民体育祭冬季大会

昭和59年～現在のスケートリンク

町民スケートリンク
現在のスケートリンクの場所に移転
1周400mの公認ダブルトラック
内側にホッケーリンク1面

夜間照明

平成4年ごろ内側のホッケーリンク撤去
平成27年管理棟新設

トピック

昭和59年1月16日
完成記念行事 胆振東部親善記録会
小中学生300人参加



↑町民スケートリンク(平成6年ごろ)
内側のホッケーリンクがありません。

厚真町長杯アイスホッケー大会 ~ 町民リンクの内側にホッケー場 ~

昭和59年に高校生や社会人20人で結成された地元アイスホッケーチームの厚真クラブは、町内にほかのチームがなく、試合などがほとんどできない状態でした。そこで、昭和60年に「第1回町長杯ホッケー大会」を企画し、苫小牧、白老、札幌の各市町から8チームが参加して行われました。

記念となる第1回大会は、数日前からの暖気で最悪のコンディションと記録されていますが、地元の厚真クラブは決勝戦まで進み、苫小牧プルートとPS戦(サッカーでいうPK戦)の末、惜しくも準優勝でした。大会当日は、商工会青年部があづまジンギスカンやハスカップおにぎりなどを提供し、参加した選手が舌つづみをうっていました。写真にある第6回大会は、厚真クラブのほか苫小牧、白老から合わせて6チーム、約130人が参加しています。当時はこうしたウィンタースポーツを通して、周辺の市町と交流をしていました。ちなみに、町長杯を開催した当時の町長は谷内町長です。余談ですが、広報あつまによると、町内最初のアイスホッケー大会は昭和48年に旧上厚真中学校のグラウンドで開催されたという記録があります。



第2回厚真町長杯アイスホッケー大会
(1986年：昭和61年)



第6回厚真町長杯アイスホッケー大会
(1990年：平成2年)

小学生スケート教室の今昔

学校の授業以外で、小学生を対象としたスケート教室。スケートが苦手な子どもたちも、スケート教室で指導員に教えてもらえることによって上達していきます。今も昔もこうしたスケートに対する熱い思いと、ウィンタースポーツとしてのスケートをみんなで支えています。



スケート教室の様子（1991年：平成3年）



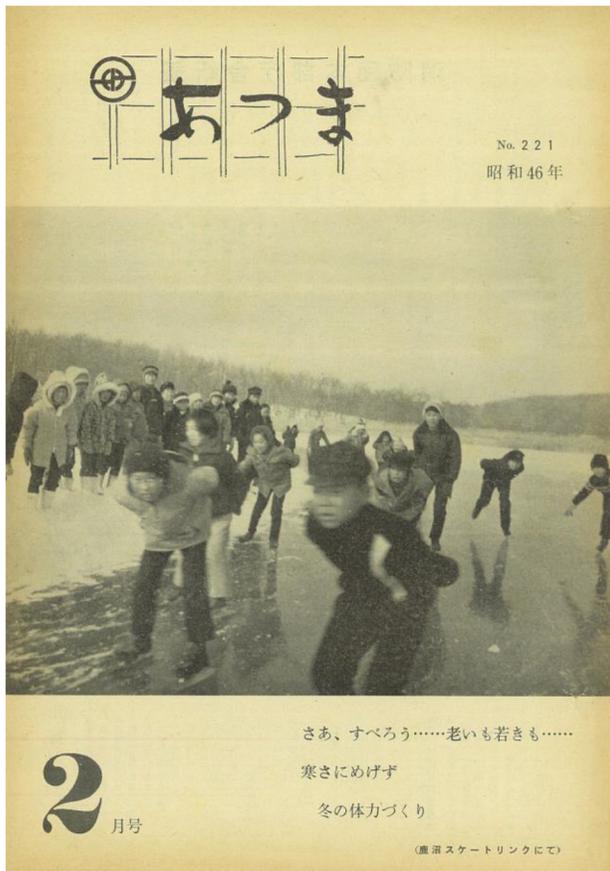
スケート教室の様子（2011年：平成22年）



スケート教室の様子（2025年：令和7年）

昭和の広報でわかる厚真のスケート事情!?

昭和40～50年代はスケート大会や町民体育祭 冬季大会が開催されていましたが、自治会の活動も活発でした。



1971年（昭和46年）の広報あつまの表紙を飾る“鹿沼スケートリンク”。学校前の凍った沼で滑っています！



1973年（昭和48年）東和自治会のスケートリンク
この記事には 宇隆 森田定一さん 25アール
東和 水野源五郎さん 35アール
高丘 伴一郎さん 30アール
の水田をスケートリンクのために提供していることが記事になっています。※1アールは100㎡



1974年（昭和49年）東和自治会主催のスケート大会の様子 第6回とあり、参加者も数百人とあります。リンク後ろの家屋がまだ茅葺きなのも、とっても懐かしいですね！